

北山エリア整備計画の見直しを求める要請署名

【要請の趣旨】

京都府は、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるうなか、北山エリア整備計画を2020年12月に策定しました。京都市にある北山エリアには、97年の歴史を持つ府立植物園、府立大学、国宝・東寺百合文書等の歴史資料や公文書を備えた府立京都学・歴彩館が存在し文化環境ゾーンとして整備されてきました。京都府はそのエリアを賑わいと交流を図るためとして民間の資金やノウハウを活用し、1万人規模のアリーナ計画、植栽場所及び面積の縮小を伴う府立植物園の改変、新たにシアターコンプレックスの建設などをすすめるようとしています。

北山エリア整備計画について、次のような危惧と不安をもっています。また地域住民はじめ当事者に知らされずすすめられていることも問題だと考えています。

- 1) 自然環境や生活環境に大きな影響が及ぶのではないか。
 - 2) 北山エリア全体の整備で莫大な財政負担が京都府財政に強いられるのではないか。
 - 3) 北山エリア整備で運営形態が変わることにより京都府立植物園の社会教育施設・博物館としての機能や役割が大きく後退するのではないか。
 - 4) アリーナ建設が優先されることや北山エリア全体の整備により、積年の課題である府立大学のキャンパスの安全・安心の確保が遅れ、学生・教職員の教育・研究活動や自主活動に環境面や財政面などで支障を及ぼすのではないか。
 - 5) シアターコンプレックス（文化施設）の整備内容や運営形態により、興業性優先でなく市民の自主的な文化芸術活動を育み支援するものになるのか。
 - 6) 賑わい施設の宿泊施設・ホテルは必要性がなく、府有地の中に設けることは相応しくない。
- 私たちは、こうした重大な問題が想定される整備計画について、次のことを要望します。

【要請の事項】

1. 拙速にすすめられている北山エリア整備計画については一旦立ち止まり、民間事業者の利益優先でなく、地域住民や当事者の意見にもとづき必要な見直しをしてください。
2. 京都府府立植物園を機能や面積を縮小させるのではなく、社会教育施設として充実させ、京都府の直営で運営をしてください。
3. 府立大学のキャンパス整備について、商業利用の1万人規模のアリーナ計画を前提とせず、老朽校舎の改築など安全・安心に学べる環境整備はじめ学生・教職員の要望にもとづきすすめてください。
4. シアターコンプレックスについて、文化芸術関係者などの意見を聞き、文化活動を支援する施設・機能を充実させてください。

氏 名	住 所

2021年4月 ※この署名用紙は、京都府知事への要請以外に個人情報を利用されることはありません。

【取扱団体】 北山エリアの将来を考える会

Email : kitayamaeria.c@gmail.com

【連絡先】 京都市左京区下鴨東半木町71-25 梶山耕一方

Tel : 090-3707-8316